

放送ライブラリー公開番組＜2013年7月新公開ラジオ番組＞

※8階視聴ブースで視聴できます

番組ID	番組名	放送局	ジャンル	番組概要
R20709	防災ラジオ 私達にできる事	アール・エフ・ラジオ日本 27分 2012.03.09	トーク・ワイド ショー	防災情報番組(10分×3回分を公開)。3月9日の放送は、東日本大震災から1年を迎える被災地からのレポート。宮城県名取市と石巻市を取材し、仮設住宅の人々の声や街の様子、復興状況を伝える。4月13日、20日放送では、東日本大震災の教訓を首都圏にどう生かすか、早稲田大学教授の柴山知也さんに聞く。「想定外」をなくそうと発表された津波被害の新しい予測図には、横浜駅周辺や横浜スタジアムなど、従来よりも大幅に拡大した浸水予想地域が示されている。柴山さんは、一人一人が災害リスクに敏感になって、自宅や学校、職場で地震に遭うと何が起こるか、どう避難するか考えることが重要だと訴える。
R20725	echoes	長野エフエム放送 60分 2012.03.12	トーク・ワイド ショー	東日本大震災の翌日に発生した長野県北部地震から1年に当たるこの日は、最も大きな被害を受けた栄村からの生放送。村の現状、様々な支援、今後の復興の鍵となる村の魅力について、仮設住宅集会所の「こたつブース」から伝える。東日本大震災の陰に隠れ「忘れられた被災地」とも呼ばれるが、栄村でも多数の家が倒壊し、田にはひびが入り、道路は寸断された。住民は元に戻す復旧でなく、未来を見ずしてより良く復興して欲しいと語る。戸隠在住のフランス人夫妻はフランスで支援演奏会を開き、仮設住宅全戸にストーブを贈った。ボランティアの受け入れをしてきたNPOのスタッフは村外からの移住者。栄村の魅力、今後の復興の道筋について聞く。最後は水芭蕉を見ながらのトレッキングなど、春からの観光資源を紹介。村を訪れ、自分の目で見てもらうことも、復興の大きな支えになると呼びかける。
R20740	ご当地ラジオドラマ 大垣駅前のカケラたち	岐阜エフエム放送 30分 2012.05.27	ドラマ	岐阜県大垣市を舞台にしたご当地ラジオドラマ。ストーリーはフィクションだが、登場する店舗や大学などは実在のもの。岐阜経済大学の学生、リョースケは、年上で社会人のアイと付き合うようになった。しかしアイの大人の感覚についていけないリョースケは次第にコンプレックスを感じるようになり、同級生のユカリに惹かれていく。アイと別れたものの彼女を忘れられないリョースケは、深夜大垣駅前でも偶然アイを見かけ、素直な思いを打ち明けようとする。
R20774	日々感謝。ヒビカン	中国放送 102分 2012.08.06	トーク・ワイド ショー	原爆の日のこの日は、アメリカ人詩人のアーサー・ビナードさんとともに平和記念公園を散策しながら伝える。ビナードさんは、被爆遺品を主人公にした絵本『さがしています』を出版。その中には、慰霊碑に名前が刻まれた少年少女の遺品もあった。ビー玉やかばんなど、物言わぬ遺品の声をビナードさんが代弁する。広島市立高等女学校原爆慰霊碑の少女が抱える箱には、「原爆」ではなく核分裂のエネルギーを示す「E=mc ² 」と刻まれている。ビナードさんは、「E=mc ² 」と置き換えられたことでこの像はチェルノブイリなどにも通ずる普遍性を持ったと指摘する。
R20821	シンクロのシティ	エフエム東京 117分 2012.08.23	トーク・ワイド ショー	東京の市井の人々の声をすくいあげる平日夕方の番組。今回は「23区対抗東京区民ピック」のグランドフィナーレ。各区の「自慢」を募集し、最も票を集めた区を「東京で最も愛され区ナンバー1」と認定する。町の声を集めるボイス隊が集めてきた声とツイッターなどで寄せられたメッセージには「世田谷区は野菜が新鮮」という地元区民ならではの意見や「一生この区で暮らす」と愛情溢れるコメントが続く。総投稿数は2万3千を超えた。「TOKYO BEATS」のコーナーでは、下町の町工場の力を結集して深海探査に挑む「江戸っ子1号」プロジェクトについて聞く。